

下記の研究は、通常の診療で得られた過去のデータを用いて行われる研究で、患者さんの診療に影響を与えるような介入はありません。また、研究で得られたデータに際しては個人が特定できる情報は削除いたしますので、患者さんの個人情報公表されることはありません。

なお、終了した研究も記載しています。( )内は承認番号です。

2011年3月(146)

カテーテル関連血流感染 (CRBSI: catheter-related bloodstream infection) に対する抗菌薬適正使用がその後の菌血症再発に及ぼす影響

2011年9月(211)

エポプロステノールナトリウム製剤の使用状況と副作用傾向の調査

2012年3月(259)

抗菌薬適正使用と耐性菌発生の関連性の検討

2013年8月(404)

低用量群と高用量群に分けたメロペネム及びドリペネムの安全性の検討

2014年9月(533)

ワルファリンとリネゾリドの薬剤間相互作用の調査

2015年7月(660)

非小細胞肺癌完全切除例に対する術後補助化学療法シスプラチン+ビンoreルビンの実態と薬剤師の関わりについて

2015年11月(723)

OK-432 とタルクによる胸膜癒着療法の有効性、安全性に関する後方視的調査

2016年3月(757)

ワルファリンカリウム錠服用入院患者に提供される病院食の「納豆禁」設定状況調査

2016年5月(768)

東京都におけるポリファーマシーの現状調査 (他施設共同後方視的観察研究)

2016年5月(769)

オピオイド鎮痛薬が睪胆道系検査値に与える影響に関する後方視的調査

2016年3月(776)

胸膜癒着療法による胸痛、発熱のリスク因子の検討

2016年11月(858)

ビンoreルビンによる静脈炎のリスク因子の研究

2017年2月(895)

臨床分離された *Candida* 属真菌、*P. aeruginosa* 及び *M. kyorinense* を用いて抽出した菌体成分による炎症性疾患の発症に関する研究

2017年9月(982)

救命センターでのフェニトイン及びホスフェニトインの使用に際して実施される、薬剤師による TDM 解析の有用性に関する後方視的研究

2017年12月(1031)

ナルデメジンの使用状況調査および適正使用についての検討